

習慣を表すスルとシテイルの扱い

—『みんなの日本語』を例に

城戸秀則

◆要旨

「毎日」「いつも」といった繰り返しを表す語を伴う習慣を表すスルとシテイルの違いは、恒常的か一時的かというニュアンスの違いにあるとされているが、この使い分けの説明は、学習者にはわかりづらいものである。本稿では、その違いが場面にあることを論じる。一定の期間や目的を表す語が与えられた場合には、スルではなくシテイルが選択されるのである。さらに、『みんなの日本語』で提出される習慣を表すスルとシテイルの用法を整理し、指導案を提示する。

◆キーワード

スルとシテイル、習慣、恒常的か一時的か、場面、『みんなの日本語』

◆ABSTRACT

This paper discusses how to teach habitual aspect *suru* and *siteiru* in *Minna no Nihongo*. Several studies have proved that the difference between *suru* and *siteiru* with words which represent repetition, such as *mainichi* or *itsumo*, is nuance: permanent or temporary. However, we did find that *siteiru* is used in situations with certain period of time or words which represent purpose. Moreover, we organized the usage of habitual aspect *suru* and *siteiru* and proposed a teaching method.

◆KEY WORDS

suru and *siteiru*, habitual aspect, permanent or temporary, situation, *Minna no Nihongo*

Habitual Aspect *suru* and *siteiru*
Taking *Minna no Nihongo* as an Examples
KIDO HIDENORI

1 はじめに

(1) のような繰り返しを表す語を伴って現れるスルとシテイルは、いずれも「習慣」「反復」「繰り返し」などと呼ばれ、その違いは恒常的か一時的かというニュアンスの違いであるとされている(工藤1982,庵・清水2003)。

(1) 毎朝6時に {起き/起きてい} ます。

しかし、この説明は、日本語母語話者の視点からの説明であり、学習者にとってはわかりにくい。特に中国語を母語とする学習者にとっては、「習慣・繰り返し」の用法は中国語ではただ「時の副詞」のみで表される(許2005)ため、スルを使うのかシテイルを使うのかの判断が難しいようである。

(2) A: 来週から期末テストですね。*毎日勉強しますか。
B: もちろん。テレビを見る時間がありません。(台湾人学習者)

初級の教科書では、習慣を表すスル、そしてシテイルの順に提出されるが、特に繰り返しを表す語を伴うスルとシテイルの使い分けについては、両者のニュアンスの違いだけでなく、どのような場合にシテイルが選択されるのか、ということまでを含めた指導が必要になってくる。

2 『みんなの日本語』における扱い

『みんなの日本語』では、習慣を表すスルは、動詞文が初出となる第4課で「毎日」「毎晩」といった繰り返しを表す語を伴って提出される一方、第6課では繰り返しを表す語を伴わずに提出される。

(3) 毎晩何時に寝ますか。……11時に寝ます。(4課例文)
(4) お酒を飲みますか。……いいえ、飲みません。(6課例文)

また、習慣的な行為を述べる表現としてシテイルが、第15課と第28課でそれぞれ提出される。

(5) 母は高校で英語を教えています。(15課会話)
(6) 毎朝ジョギングをしています。(28課文型)
(7) 休みの日はいつも何をしていますか。
……そうですね。たいてい絵をかいています。(28課例文)

第15課では、(5) のように、繰り返しを表す語を伴わずに現れる一方、第28課では、(6) (7) のように「毎朝」「いつも」といった繰り返しを表す語を伴って現れる。まとめると、以下のようになる。

表1 習慣を表すスルとシテイルの提出課・提出例・用法

提出課	繰り返しの語	形式	提出例	用法
4課	○	スル	(3)	習慣
6課	×		(4)	
15課	×	シテイル	(5)	
28課	○		(6) (7)	

ところが、(3) ~ (7) は、スルとシテイルの選択において、以下のような異なりを見せる((3') (4') (7) は紙幅の都合上質問文のみ記す)。

(3') 毎晩何時に {a.寝/b.寝てい} ますか。
(4') お酒を {a.飲み/b.*飲んでい} ますか。
(5') 母は高校で英語を {a.*教えます/b.教えています}。
(6') 毎朝ジョギングを {a.し/b.してい} ます。
(7') 休みの日はいつも何を {a.し/b.してい} ますか。

(3') ~ (7') から、(3) ~ (7) は3つに分かれる。まず、(4) のようにスルのみ可能なタイプ、次に、(5) のようにシテイルのみ可能なタイプである。最後に、(3) (6) (7) のようなタイプであるが、ここでは暫定的にスルとシテイル

ルのいずれも可能なタイプとしておく。

3 先行研究での扱い

3.1 スルのみ可能なタイプとシテイルのみ可能なタイプ

まず、(4) のようにスルのみ可能なタイプであるが、このタイプは工藤(2014)では「恒常的な〈特性〉」とされる。

(8) 父は酒を飲む／酒飲みだ。(工藤2014、下線は工藤)

(8) は、「アスペクト・テンス対立無」(工藤2014)であるため、スルのみが選択される。また、庵・清水(2003)では「時間に関係なく存在する属性・状態を表す」とされている。便宜上、このタイプを「属性」と呼んでおく。

次に、(5) のようにシテイルのみ可能なタイプであるが、工藤(2014)では、「〈長期持続〉を表すもの」であり、「テンス的に現在を表すためには、「している」形式の使用が義務的である」とされるように、シテイルのみが選択される。このタイプは、「習慣」としてひとくくりにされることが多いが、砂川(1986)では、「現在の所在や所属や職業」を表すとして、習慣・繰り返しからは分けられている。便宜上、「所属・職業」と呼んでおく。

3.2 スルもシテイルも可能なタイプ

工藤(1982)では、(3) (6) (7) のようなタイプを「反復」と呼び、「近頃」「最近」「よく」「時々」「毎日」「一週間に一度」が共起した場合には、その意味が明示され、スルとシテイルはどちらを使ってもほぼ同じである一方、そのような語がない場合には、「スルには「恒常的反復」(「習慣」)、シテイルには「一時的反復」という差(ニュアンスの差)がでてくるかもしれない」としている。

(9) 私は朝日新聞を読{み／読んでい}ます。(工藤1982、一部改)

また、庵・清水(2003)では、スルとシテイルはいずれも属性や繰り返しの用法を持つが、前者は「恒常的」、後者は「一時的」というニュアンスの違いがあるとしている^[註1]。

このように、スルもシテイルも可能なタイプは、前者が恒常的、後者が一時的というニュアンスの違いがあるとされている。しかし、このニュアンスの違いを指導するだけでは、学習者はその使い分けが理解できない。適切な産出につなげるためには、実際にどのような場合にスルではなく、シテイルが選択されるのかを、具体的な場面や例を示して指導する必要がある。

4 シテイルが選択される場面

上で見た(3) (6) (7) は、スルもシテイルも可能なタイプであったが、いずれも以下のような場合には、シテイルのみが選択される。

- (10) (旧正月休み中)
毎晩何時に{*寝／寝てい}ますか。……11時に{*寝／寝てい}ます。
- (11) A: Bさん、少しやせましたね。
B: ダイエットのために、毎朝ジョギング{*す／してい}るんです。
- (12) (夏休み中、AとBは野球部の部員)
A: 夏休みは毎日練習があって大変ですね。
B: ええ。ゆっくり勉強する時間がありませんね。
B: 休みの日はいつも何を{*し／してい}ますか。
A: そうですね。たいてい{*寝／寝てい}ます。

まず、(10) (12) はそれぞれ「旧正月休み中」「夏休み中」という一定の期間を表す場面が与えられている。そのため、習慣が限定された一時的な期間であることが明示され、シテイルが選択されると考えられる。シテイルが一時的な習慣を表すことは先行研究でも言及されているが、(10) (12) のように、具体的な場面を示したほうが、学習者にとってもより理解しやすいのではないか。

次に、(11) であるが、(10) (12) とは違って、一定の期間を表す場面は与え

られていないが、「ダイエットのために」という目的を表す語があるため、シテイルが選択されると考えられる。目的を表す語があることにより、ダイエットが目的で、あるときから毎朝ジョギングを始めて、それを今も続けているという、目的達成のための行為の開始から現在までの期間が表されるからであろう。これも一時的な習慣に含められるが、目的を表す語があれば、シテイルが選択されるという説明のほうが、学習者にとってはよりわかりやすいであろう。

冒頭の学習者の例も、来週から期末テストが始まるため、テストのために勉強するという目的が背景にあることから、シテイルが選択されると考えられる。

以上のことからわかるのは、繰り返しを表す語を伴う習慣を表すスルとシテイルの違いは、それが使用される場面にあるということである。一定の期間や目的を表す語が与えられた場合には、シテイルが選択されるのである。

このように、一定の期間や目的が明示された場面においては、シテイルが選択され、スルには置き換えられないのであるが、(3'a) (6'a) (7'a) のような繰り返しを表す語を伴うスルも、(4) のような繰り返しを表す語を伴わないスルと同様に、「属性」を表しているとは考えられないだろうか。場面が明示された(10) (11) (12) においてスルが選択されないのは、このようなスルが恒常的な習慣、つまり「属性」を表しているためであろう。ただし、シテイルの形で一時的習慣を表し得る点で、(4) のようにスルのみ可能なタイプとは異なる。

5 指導案

以上、2節、3節、4節で述べてきたことを整理し直すと、以下のようになる。

表2 習慣のスルとシテイルの提出課・提出例・用法(改定版)

提出課	繰り返しの語	形式	提出例	用法
4課	○	スル	(3'a) (6'a) (7'a)	属性
6課	×		(4)	
15課	×	シテイル	(5)	所属・職業
28課	○		(3'b) (6'b) (7'b)	一時的習慣

このうち、「所属・職業」のタイプは、シテイルの形で「かたまりとして導入」(庵2015)すればよく、また、定型パターンとして初期の段階で習得され、習慣を表すテイルの用法に比べ、習得の難易度は高くない(許2005)。そのため、それほど問題にならないのではないかと。また、表2からわかるように、繰り返しを表す語を伴うスルとシテイルは、「属性」か「一時的習慣」というニュアンスの違いで対立していることになるが、後者は一定の期間や目的を表す語が与えられた場合で、前者はそれが無い場合である。したがって、初級の学習者への指導の際には、一定の期間や目的を表す語があれば、シテイルが選択されるということを指導すれば、スルとの違いが明確になり、学習者が産出する際の助けとなるのではないかと。

6 終わりに

本稿では、『みんなの日本語』に現れる習慣を表すスルとシテイルについて、適切な産出につなげるために、従来のニュアンスの違いから、一定の期間や目的を表す語が存在する場合にはシテイルが選択されるという、具体的な場面を提示して指導することを提案した。学習者にとって必要なのは、その形式がどんな場面で使われるのかという情報なのではないかと。(東呉大学大学院生)

謝辞

本稿執筆にあたり、ご意見、ご指摘をくださった方々に心より感謝申し上げます。また、匿名の査読者からも貴重なご意見をいただきました。合わせて感謝申し上げます。

注

[注1] …… ニュアンスの違いについては、以下のような例を挙げている。

(1) a. この1週間ほど、毎朝6時に {起きる・起きている}。

b. 山田：田中さんは朝早いんですか。

田中：そうですね。毎日6時に {起きます・起きています} ね。

(庵・清水2003)

(1a) ではシテイルを、(1b) ではスルを選択させる問題であると思われる。

(1b) は、(1a) と比べると、スルが選択されそうであるが、(1b) だけで見た場合、「起きます」も「起きています」もどちらも選択可能である。

参考文献

庵功雄 (2015) 「日本語学的知見から見た初級シラバス」庵功雄・山内博之 (編) 『データに基づく文法シラバス』 pp.1-14. くろしお出版

庵功雄・清水圭子 (2003) 『日本語文法演習 時間を表す表現—テンス・アスペクト』 スリーエーネットワーク

許夏珮 (2005) 『日本語学習によるアスペクトの習得』 くろしお出版

工藤真由美 (1982) 「シテイル形式の意味記述」『武蔵大学人文学会雑誌』 13(4), pp.51-88. 武蔵大学人文学会

工藤真由美 (2014) 『現代日本語ムード・テンス・アスペクト論』 くろしお出版

砂川有里子 (1986) 『日本語文法セルフ・マスターシリーズ2 する・した・そている』 くろしお出版

資料

スリーエーネットワーク (2012) 『みんなの日本語初級Ⅰ』 [第2版]

スリーエーネットワーク (2013) 『みんなの日本語初級Ⅱ』 [第2版]